

薫風に新たな帆をあげて

五月の昇段審査も終了し、新年度の各種行事も滞りなく進行しています。三代宗家・最高師範の直接指導による講習会・研修会、さらには本部道場日曜稽古も数十回を数えるようになりました。それに従って、和道流の正当なる技術と理合についても、毎回参加する熱心な会員諸氏の理解は、相当に深まって参りました。講習会・研修会、日曜稽古については、支部長・指導者層に止まらず、術理習得に志のある会員なら、すべての人に門は開かれています。挙って参加されることによって、会員個々の実力は上り、連盟の力は今以上に大きくなるでしょう。これこそが武道団体としての和道流空手道連盟の存在証明なのです。

また、軽井沢にある、国際バカロレア認定校である「ISAK(アイザック)」(高校)で、宗家が体育の授業として、9月から和道流を教えることが決りました。

和道流創流の理想を体現すべく、大旗を掲げて歩武堂々と前進しましょう。

和道流空手道連盟理事長 坂巻明